

# 奈良県十津川村史歴史資料調査

東 昇

## 1. 十津川村村史編さん事業

文化情報学ゼミでは、2017年度から、奈良県十津川村の村史編さん事業の一環として、十津川村に伝来している古文書をはじめとした、歴史資料の調査と整理を行っている。この村史編さんには、歴史部会近世史担当として、東昇（部会長）、水谷友紀学術研究員（部会員）が参加している。

調査は、十津川村教育委員会南隆哲、藤重季恵、義紘明学芸員の協力の下、2018年12月14～17日（十津川村）、11月16日、12月17日（精華町）、学内文化情報実習室で、文化情報学ゼミ所属の学生・院生が参加し、主に近世・近代文書の調査・撮影を実施した。

## 2. 十津川村・精華町の資料調査

2018年度は、玉置神社、十津川村歴史民俗資料館、区有文書、個人所蔵文書の調査を行った。12月の十津川村での調査では、近世史部会員を中心に、五条市大塔天辻峠の天誅組本陣跡、玉置神社所蔵の襖絵、十津川村歴史民俗資料館所蔵文書、区有文書の調査を実施した。

京都府精華町の調査は、十津川村から移住された個人所蔵の近世近代文書を、有賀陽平氏（4回生）とともにに行い、文書の確認、番号付与、撮影を行った。

京都府立大学内では、文書目録、翻刻作成、十津川村歴史資料館所蔵「十津川宝蔵文書」、  
「玉置神社文書」他のマイクロフィルムをデジタルデータへ変換する作業を行っている。



写真1 玉置神社



写真2 個人所蔵文書調査